

# 岐阜県中津川市方言



岐阜県方言区画図

【岐阜県の方言区画】岐阜県の方言は、旧国別をもとにした飛騨方言と美濃方言に大きく分けられ、美濃方言はさらに東濃方言・中濃方言・西濃方言・郡上（北濃）方言に区画される（区画図参照）。郡上方言は、飛騨方言とともに北部の方言と認める説もある（奥村編 1976）。

【中津川市方言について】中津川市は、昭和・平成の大合併により、長野県の一部の地域（神坂・山口）や下呂市に近い地域（加子母・付知）が合併し、美濃地方の中では、郡上市、揖斐川町に次いで3番目に広い市となったが、ここでいう「中津川市方言」は、旧中津川町（現在の中津川市街地および苗木）の方言である。

この地域の方言の特徴として、まず、一段型動詞「来る」「する」のラ行多段型化（見る：ミラッセル、ミリ、ミレなど）や、「する」のサ行一段型化（する：セン、セヤ、セーなど）が一部の活用形で確認できる点が挙げられる。また、命令表現は、共通語と同じ形式の「カケ」をはじめ、連用形「カキ」、仮定形「カキヤー」、テ形「カイト」や、丁寧形「カキンサイ」のようにたくさんの形式が用いられる。これら

は、「カイト」<「カキ」「カキヤー」<「カケ」の順に強い命令となる。推量表現は、美濃方言でよくみられる「ヤロ」に加えて「ヤラ」「ラ」が用いられ、「ヤロ」<「ヤラ」<「ラ」の順に確信の度合いが高まり、念を押す場合に使いやすくなる（下野編 1997）。さらに、継続表現に「ヨル」「トル」の両方が用いられることも特徴の一つである。これらが進行の意味で使われるとき、自分の行為について述べる場合に「トル」が、他者の行為を客観的に述べる場合に「ヨル」が使いやすいなど、さまざまな傾向が考えられるが、例外も多い。なお、アクセントは、東京方言の体系と大きく変わらない。

中津川市においても、共通語化は進んでいるが、岐阜市や大垣市に比べれば、通勤・通学のために他県へ移動する人が少ないこともあって、伝統形式の衰退は緩やかである。しかし、近年では、若年層を中心に、進学や就職などを理由に都市圏へ移る人が増えており、それと同時に県外や外国からの移住者も増えているため、今後、伝統形式の衰退が加速していくおそれがある。

【調査概要】本稿の記述は、基本的に中津川市に生育した筆者（2000年生まれ）の内省をもととしている。例文は、必要に応じて中津川市出身の40代女性に確認し、訂正を行った。また、両者の内省が効かない用法については、岐阜県立中津高等学校郷土研究部言語班（1956）『中津川を中心とした恵那ことばの研究 1』から例文を引用し、[中津]と示した。

## 岐阜県中津川市方言の活用表

### 《動詞》

		多段型 書く	一段型 見る	来る	する	
終止類	断定非過去	カク	ミル	クル	スル	
	断定過去	カイタ	ミタ	キタ	シタ	
	命令	カケ	ミロ	コイ	シロ	
		カキヤー	ミレ ミヤー	コレ コヤー	セレ シヤー／セヤー	
		カキ (一)	ミリヤー ミリ (一)	コリヤー コリ (一)	シリヤー／セリヤー シリ (一)／セー／ セリ (一)	
		カ ITE カキンサイ	ミテ ミンサイ ミリンサイ	キテ キンサイ コリンサイ	シテ シンサイ／センサイ シリンサイ	
	禁止	カクナ	ミンナ	クンナ	スンナ	
意志・勧誘	カコ (一) カコマイ	ミヨ (一) ミヨマイ	コヨ (一) コヨマイ	シヨ (一) シヨマイ		
	推量	カクヤラ (一) カクヤロ (一) カクラ (一)	ミルヤラ (一) ミルヤロ (一) ミルラ (一)	クルヤラ (一) クルヤロ (一) クルラ (一)	スルヤラ (一) スルヤロ (一) スルラ (一)	
接続類	連体非過去	カク	ミル	クル	スル	
	連体過去	カイタ	ミタ	キタ	シタ	
	中止	カ ITE	ミテ	キテ	シテ	
	仮定	カキヤ カケバ カ ITARA	ミヤ ミリヤ ミレバ ミタラ	コヤ コリヤ／クリヤ コレバ／クレバ キタラ	シヤ／セヤ シリヤ／スリヤ／セリヤ スレバ／セレバ シタラ	
派生類		否定非過去	カカン カカ (一) ヘン	ミン ミーヘン	コン コーヘン	シン／セン シーヘン／セーヘン
		否定過去	カカナンダ カカンカッタ	ミナンダ ミンカッタ	コナンダ コンカッタ	シナンダ／セナンダ シンカッタ／ センカッタ
丁寧	カキマス	ミマス	キマス	シマス		
使役	カカセル カカス	ミサセル ミサス	コサセル コサス	サセル サス		
	受身	カカレル	ミラレル	コラレル	サレル	
可能	カケル	ミレル	コレル	《デキル》		
尊敬	カキンサル	ミンサル ミリンサル	キンサル コリンサル	シンサル シリンサル		
	カカッセル	ミラッセル	コラッセル	サッセル		

				《オイデル》 《ミエル》	
	継続	カイトル カキョール カキヨル	ミトル ミョール ミヨル	キトル キョール キヨル	シトル ショール シヨル
	希望	カキタイ	ミタイ	キタイ	シタイ
	のだ	カクンヤ	ミルンヤ	クルンヤ	スルンヤ

多段型動詞の基幹音便形

語幹末子音	語例	活用形例 (過去形)	作り方
k	書く kak·u	カイ-タ	kをiにする。「行く」ik·uはkをQ(促音)にし「イツ-タ」。
g	嗅ぐ kag·u	カイ-ダ	gをiにする。-タが-ダになる。
s	出す das·u	ダイ-タ ダシ-タ	sをiにするか、基幹イ段形を用いる。動詞によって音便形のとりやすさが異なる。
t/c	立つ tac·u	タツ-タ	t/cをQ(促音)にする。
n	死ぬ sin·u	シン-ダ	nをN(撥音)にする。-タが-ダになる。
b	飛ぶ tob·u	トン-ダ	bをN(撥音)にする。-タが-ダになる。
m	飲む nom·u	ノン-ダ	mをN(撥音)にする。-タが-ダになる。
r	切る kir·u	キッ-タ	rをQ(促音)にする。
w/ø	買う ka(w)·u	カッ-タ	wをQ(促音)にする。

《形容詞・形容名詞述語・名詞述語》

		赤い	静か(だ)	学生(だ)
終止類	断定非過去	アカイ	シズカヤ	ガクセーヤ
	断定過去	アカカッタ	シズカヤッタ	ガクセーヤッタ
	推量	アカイヤロ	シズカヤロ	ガクセーヤロ
接続類	連体非過去	アカイ	シズカナ	《ガクセーノ》
	連体過去	アカカッタ	シズカヤッタ	ガクセーヤッタ
	中止	アコ(一)テ アカクテ	シズカデ	ガクセーデ
	仮定	アカケリヤ アカカッタラ	シズカヤッタラ	ガクセーヤッタラ
派生類	否定	アコ(一)ナイ アカナイ	シズカヤナイ	ガクセーヤナイ
	なる	アコ(一)ナル アカナル	シズカニナル	ガクセーニナル
	副詞	アコ(一)	シズカニ	ガクセーニ
	丁寧	アカイデス	シズカデス	ガクセーデス
	のだ	アカインヤ	シズカナンヤ	ガクセーナンヤ

## 1. 動詞の活用の特徴

### (1) 活用型と語類の対応

規則的な活用型は、基幹多段型（以下「多段型」と、一段型（以下「一段型」）に分けられる。多段型にはa類（「書く」「居る」「死ぬ」）、一段型にはb類（「見る」「起きる」「開ける」）の動詞が属する。

多段型の基幹は、ア・イ・ウ・エ・オの5段に活用し、さらに音便形がある。

一段型には、ミル(mi-ru)、オキル(oki-ru)など、基幹がイ段の動詞と、ネル(ne-ru)、アケル(ake-ru)など、基幹がエ段の動詞がある。基本的に共通語と変わらないが、命令形「ミリ」「ミレ」のように、ラ行多段型の形式に対応するものもある。

不規則な活用をする動詞として「クル」（来る）、「スル」（為る）がある。「クル」は、キタ(k-i-ta)、クル(k-u-ru)、コン(k-o-n)のように、基幹がキ・ク・コの3段に活用する。仮定形は共通語と同形のクレバも使われるが、コレバがよく用いられる。「スル」は、サレル(s-a-ru)、シタ(s-i-ta)、スル(s-u-ru)、セン(s-e-n)のように、基幹がサ・シ・ス・セの4段に活用する。「クル」「スル」は、一段型と同様、「コリ」「コレ」、「シリ」「シレ/セレ」のように、ラ行多段型の形式に対応するものもある。

### (2) 各活用形の特徴

#### 〈断定非過去形・連体非過去形〉

共通語と同様、断定非過去形・連体非過去形は同形で、多段型はウ段形となる。一段型は「基幹+ル」、「来る」「する」は「ウ段形+ル」となる。

- ・コレカラ カエル。(これから帰る。)
- ・アサッテ タイフー クルヨ。(明後日、台風が来るよ。)
- ・コトシノ フユ キル モンガ ナイ。(今年の冬に着る物が無い。)
- ・コッチ キテモ スル コト ナイヤラ。(こっちに来てもすることがないでしょう。)

#### 〈断定過去形・連体過去形〉

共通語と同様、断定過去形・連体過去形は同形で、多段型は基幹音便形に、一段型動詞は基幹に、「来る」「する」はイ段形に「タ」を付ける。

- ・コナイダ ドコニ オッタノ? (この間はどこにいたの?)

・アンタ コレ タベタ コト アル? (あなたはこれを食べたことがある?)

・マエ キタ トキト ゼンゼン チガウ。(前に来たときと全然違う。)

・キノー クサカリ シタデ キレーヤラ。(昨日草刈りしたから、きれいでしょう。)

#### 〈命令形〉

強い命令では、共通語と同形の「カケ」「ミロ」「コイ」「シロ」が用いられる。一段型や「来る」「する」については、ラ行多段型化した「ミレ」「コレ」「シレ/セレ」もよく用いられる。そのほか、「カキヤー」（多段型：拗音ア段長音形、ワア行多段型：基幹+ヤー）「ミヤー/ミリヤー」「コヤー/コリヤー」「シヤー/セヤー/シリヤー/セリヤー」（一段型、「来る」「する」：基幹+ヤー/リヤー）や、「カキ（ー）」「ミリ（ー）」「コリ（ー）」「シリ（ー）」（イ段形）、「カイテ」「ミテ」「キテ」「シテ」（中止形）も命令の機能をもって用いられる。また、丁寧な形式には、「なさい」に相当する「カキンサイ」「ミンサイ/ミリンサイ」「キンサイ/コリンサイ」「シンサイ/センサイ/シリンサイ」がある。

・コッチ {コイ/コレ}。(こっちに来い。)

・モット ベンキョー {シヤー/セヤー}。(もっと勉強なさい。)

・サメテ マウデ ハヨ タベリ。(冷めてしまうから早く食べなさい。)

・ウチマデ オクッテ。(家まで送って。)

・モー オソイデ ハヨー ネンサイ。(もう遅いから早く寝なさい。)

#### 〈禁止形〉

多段型は、共通語と同様、断定非過去形に「ナ」を付ける。ラ行多段型や一段型、「来る」「する」は、断定非過去形の「ル」が撥音化した形に「ナ」を付ける。

・アサ ハイイデ ネポー スンナヨ。(朝、早いから寝坊するなよ。)

#### 〈意志形・勧誘形〉

多段型ではオ段「カコ」となる一方、一段型・「来る」「する」については、「基幹+ヨ」が付くことで、「ミヨ」「コヨ」「シヨ」となる。末尾が長音にならないことが多いがどちらでもかまわない。意志形は、勧誘の意味でも用いられるが、勧誘の場合には、「カ

コマイ」「ミヨマイ」のように、「マイ」を付けた形がよく用いられる。また、これらの形式は終助詞「カ」を伴うこともある。

- ・ケンコーノ タメニ カラダ ウゴカソ。(健康のために体を動かそう。)
- ・アシタノ バンメシ カレーニ シヨカ。(明日の晩ご飯はカレーにしよう。)
- ・テンキ ワルナッテ キタデ デカケルノ ヤメヨマイ。(天気が悪くなってきたから出かけるのをやめよう。)
- ・アタラシイ ミセ デキタデ イコマイカ。(新しい店ができたから行こう。)

#### 〈推量形〉

断定非過去形に「ヤラ」「ラ」「ヤロ」をつける。従属節内や終助詞を接続する場合は「ヤロ」を用い、「ヤラ」「ラ」は使えない。末尾は長音にならないことが多いがどちらでもかまわない。

- ・エナサン ユキ ツモッタデ コッチモ ソロソロ フルヤラ。(恵那山に雪が積もったから、こっちにもそろそろ(雪が)降るだろう。)
- ・アイツモ サソッタラ クルラ。(あいつも誘ったら来るだろう。)
- ・ドニチワ ヒト イッパイ オルヤロデ ヘージツニ イコマイ。(土日は人がいっぱいいるだろうから平日に行こう。)
- ・コンダケ イー テンキヤデ センタクモンモ スグ カワクヤロナ。(これだけ良い天気だから洗濯物もすぐ乾くだろうな。)

#### 〈中止形〉

共通語と同様、過去形と同じ形に「テ」をつける。

- ・イラン モンワ ホカッテ イルモンワ マトメトキンサイ。(いらぬ物は捨てている物はまとめておきなさい。)

#### 〈假定形〉

多段型では「カキヤ」などア段拗音形が基本的に用いられるが、一部の動詞(ワア行多段型)で「基幹+ヤ」の形をとる。一段型は基幹に、「来る」はオ段形に、「する」はイ段形またはエ段形に「ヤ」をつける。「ミリヤ」「コリヤ・クリヤ」「シリヤ・スリヤ・セリヤ」のように、ラ行多段型の形式になることも多い。「カケバ」「ミレバ」「コレバ/クレバ」「スレ

バ/セレバ」のような「バ」形もみられる。さらに、多段型動詞の基幹音便形、一段型動詞の基幹、「来る」「する」のイ段形に、「タラ」を付けた形もよく用いられる。

- ・イマ カヤ ヤスイデ カットキンサイ。(今買えば安いから買っておきなさい。)
- ・ヒトバン ネリヤ ラクニ ナルラ。(一晩寝れば楽になるだろう。)
- ・イッパイ アルデ アンタモ モッテ カエレバ エーワ。(いっぱいあるからあなたも持って帰れば良いよ。)
- ・ミンナ アツマツタラ ノミ イコマイ。(皆で集まったら飲みに行こう。)

#### 〈否定非過去形〉

多段型のア段形、一段型の基幹、「来る」のオ段形、「する」のイ段形またはエ段形に「ン」をつける。あるいは、基幹の末尾を長音化させて(多段型は長音にならない場合もある)「ヘン」をつける。否定推量形(「ンヤラ・ヘンヤラ」「ンラ・ヘンラ」「ンヤロ・ヘンヤロ」)・否定中止形(「ンデ」)もこの形をとる。

- ・ヘヤ キレーニ シタデ ヨゴサン ヨーニ。(部屋をきれいにしたから汚さないように。)
- ・サイキンノ コワ アイサツ {シーヘン/セーヘン} ナ。(最近の子は挨拶しないな。)
- ・アシタワ ハレンヤロナ。(明日は晴れないだろうな。)
- ・ムリ センデ ヤスミンサイ。(無理しないで休みなさい。)

#### 〈否定過去形〉

多段型のア段形、一段型の基幹、「来る」のオ段形、「する」のイ段形またはエ段形に「ナンダ」または、「ンカッタ」をつける。否定假定形(「ナンダラ」「ンカッタラ」)もこの形をとる。

- ・キノーノ ヨル アメ フツタン シラナンダヨ。(昨日の夜に雨が降ったのを知らなかったよ。)
- ・キョー トドク ハズノ ニモツ コンカッタナ。(今日届くはずの荷物が来なかったな。)
- ・アンタガ {オランナダラ/オランカッタラ} コレ ハコブノ タイヘンヤッタワ。(あなたが居なかったらこれを運ぶのが大変だったわ。)

〈丁寧形〉

共通語と同様、多段型および「来る」「する」はイ段形に、一段型は基幹に「マス」を付ける。

- ・アシタ オミマイニ ウカガイマス。(明日お見舞いに伺います。)

〈使役形〉

多段型の活用をする「ス/サス」形と、共通語と同形の「セル/サセル」形が用いられる。多段型と「する」はア段形に「ス」「セル」を、一段型は基幹に「サス」「サセル」を、「来る」はオ段形に「サス」「サセル」を付ける。

- ・ムカエニ {イカス/イカセル} デ マットリ。(迎えに行かせるから待っていなさい。)
- ・コンド アンタンチ {トメサイ/トメサセ} テ。(今度、あなたの家に泊めさせて。)

〈受身形〉

共通語と同様、多段型と「する」はア段形に「レル」を、一段型は基幹に「ラレル」を、「来る」は「コ」に「ラレル」を付ける。「レル/ラレル」形は一段型の活用をする。

- ・タワケタ コトバッカ ヤットルモンデ シカラレルンヤ。(ふざけたことばかりしているから叱られるんだ。)
- ・キョー センサーニ ホメラレタ。(今日、先生に褒められた。)

〈可能形〉

多段型はエ段形に「ル」を付ける。一段型は基幹に、「来る」はオ段形に「レル」を付ける。「ル/レル」形は一段型の活用をする。なお、「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

- ・チャント ヨメル ジ カキンサイ。(ちゃんと読める字を書きなさい。)
- ・コノ ビンノ フタ カッターテ アケレンワ。(この瓶の蓋が固くて開けられないよ。)

〈尊敬形〉

「ンサル」形と「ッセル/ラッセル」形が用いられる。「ンサル」形は、多段型と「来る」「する」のイ段形および一段型の基幹に付く。また、一段型と「来る」「する」は、ラ行多段型化した「ミリンサル」「コリンサル」「シリンサル」も用いられる。「ッセル/ラッセル」形は、多段型と「する」のア段形に「ッセル」を、一段型の基幹に「ラッセル」を、「来る」

のオ段形に「ラッセル」を付ける。なお、「来る」については代替動詞「オイデル」「ミエル」がよく用いられる。

- ・アンタン トコニ センサー オリンサルカネ。(あなたの所に先生がいらっしゃるかね。)  
[中津]

- ・〇〇サンワ トシガ エーニ コマメニ イノカッセルナア。(〇〇さんは年を取っているのにこまめに動かれるね。)[中津]

- ・イマ オセワニ ナットル センサー マイシュー ナゴヤカラ {オイデル/ミエル} ミタイヤヨ。(今お世話になっている先生は毎週名古屋からいらっしゃるみたいだよ。)

〈継続形〉

「ヨル」形と「トル」形が用いられる。いずれも、多段型は基幹音便形に、一段型は基幹に、「来る」「する」はイ段形に付く。また、「ヨル」は拗音形「カキョール」「ミョール」「キョール」「ショール」となることが多い。

- ・デンシャデ カエロカト オモットル。(電車で帰ろうかと思っている。)
- ・マエカラ クルマ {キョール/キヨル} テ。(前から車が来ているよ。)

〈希望形〉

共通語と同様、多段型および「来る」「する」はイ段形に、一段型は基幹に「タイ」を付ける。

- ・チョット キキタイ コト アルンヤケド。(ちょっと聞きたいことがあるんだけど。)

〈のだ形〉

連体非過去形に「ンヤ」を付ける。

- ・ナニ ヤッテモ アカン トキモ アルケド キモチ キリカエテ ガンバルンヤデ。(何をやっても駄目なときも有るけれど、気持ちを切り替えて頑張るんだよ。)

2. 形容詞・形容名詞述語・名詞述語の活用の特徴

【形容詞】

形容詞の活用は一つである。中止形・否定形・なる形・副詞形においてみられる語幹の用法は、末尾の母音によって、2種類に分けられる。「アカイ(赤い)」のように、語幹の末尾の母音が「ア」のとき、「アカ」のほか「アコ」となる。末尾の母音が「イ」

「ウ」「オ」の場合、母音は交替しない。また、「アカー」「アコー」のように語幹の長音形が用いられることも多い。

〈断定非過去形・連体非過去形〉

語幹に「イ」を付ける。

- ・ナカツノ フユワ サムイデー。(中津(川)の冬は寒いよ。)
- ・エナサンワ ナカツガワデ イチバン タカイ ヤマヤ。(恵那山は中津川で一番高い山だ。)

〈断定過去形・連体過去形〉

語幹に「カッタ」を付ける。

- ・コノ ホン オモシロカッタヨ。(この本が面白かったよ。)
- ・ネンマツノ オーウリダシデ ヤスカッタ。(年末の大売り出しで安かった。)

〈推量形〉

断定非過去形に「ヤロ」を付ける。動詞で用いられる「ヤラ」「ラ」は、形容詞において、確認要求の意味で使われることが多く、推量の意味で使いにくい。

- ・オボンヤスミヤデ ドコ イッテモ ヒト オーイヤロナ。(お盆休みだからどこに行っても人が多いだろうな。)

〈中止形〉

語幹に「テ」を付ける。語幹の用法は前掲の通り。

- ・キノワ カラダ {エラー/エロー}テ ウゴケナンダ。(昨日は身体がだるくて動けなかった。)

〈仮定形〉

語幹に「ケリヤ」を付ける。

- ・サムケリヤ コタツ ツケリ。(寒ければコタツを付けなさい。)

〈否定形〉

語幹に「ナイ」を付ける。語幹の用法は前掲の通り。

- ・ゼンゼン ムズカシナイデ ヤツテミ。(全然難しくないのでやってみなさい。)

〈なる形〉

語幹に「ナル」を付ける。語幹の用法は前掲の通り。

- ・ハラ ヘルト キゲン ワルナル。(腹が減る

と機嫌が悪くなる。)

〈副詞形〉

中止形から「テ」を除いた形を用いる。語幹の用法は前掲の通り。

- ・チーサイコロ カワデ ヨー アソンドッタ。(小さい頃に川でよく遊んでいた。)

〈丁寧形〉

断定非過去形に「デス」を付ける。

- ・コノ ジキニ ミエルナンテ メズラシイデスネ。(この時期にいらっしゃるなんて珍しいですね。)

〈のだ形〉

連体非過去形に「ンヤ」を付ける。

- ・ダイガクインセーツテ イソガシンヤネ。(大学院生って忙しいんだね。)

【形容名詞述語・名詞述語】

〈断定非過去形〉

形容名詞・名詞に「ヤ」を付ける。

- ・ナンデモ キカイデ デキル ヨーニ ナツタデ バンリヤナ。(何でも機械でできるようになったから便利だな。)
- ・アシタカラ コドモンタワ ナツヤスミヤ。(明日から子供達は夏休みだ。)

〈断定過去形・連体過去形〉

形容名詞・名詞に「ヤッタ」を付ける。

- ・ユーベ オーアメデ カエツテ クルノ タイヘンヤッタ。(夕べは大雨で帰ってくるのが大変だった。)
- ・マエ ラーメンヤヤッタ トコニ カレーヤデキタ。(前ラーメン屋だった所にカレー屋ができた。)

〈推量形〉

形容名詞・名詞に「ヤロ」を付ける。動詞で用いられる「ヤラ」「ラ」は、形容名詞・名詞述語において、確認要求の意味で使われることが多く、推量の意味で使いにくい。

- ・ココワ ハレノ ヒ イッタラ サイコーヤロナ。(ここは晴れの日に行ったら最高だろうね。)
- ・アノ ヒトガ サイキン コシテキタ ヒトヤロナ。(あの人が最近引っ越してきた人だろうな。)

〈連体非過去形〉

形容名詞には、「ナ」をつける。名詞には助詞「ノ」を付ける。

- ・キノノ ヨル ヘンナ ユメ ミタ。(昨日の夜に変な夢を見た。)
- ・カイモン シトツタラ コーコーン トキノ コーハイノ タロート バツタリ デアッタ。(買い物をしていたら、高校の時の後輩である太郎とばったり出会った。)

〈中止形〉

形容名詞・名詞に「デ」を付ける。

- ・ウチワ ビンボーデ オモチャナンカ カツテ モラエナンダニ。(私の家は貧乏で、おもちゃなんか買ってもらえなかったよ。)
- ・チチオヤワ カイシャインデ ハハオヤワ シュフヤ。(父親は会社員で、母親は主婦だ。)

〈仮定形〉

形容名詞・名詞に「ナラ」「ヤツタラ」を付ける。

- ・ヒマナラ ソージ テツダエ。(暇なら掃除を手伝え。)
- ・チューガクセーヤツタラ ニュージョーリョー タダヤヨ。(中学生だったら入場料無料だよ。)

〈否定形〉

形容名詞・名詞に「ヤナイ」を付ける。

- ・アマイ モンワ アンマ スキヤナイ。(甘い物はあまり好きじゃない。)
- ・ヤッパ コノ ミチヤナイナ。(やはりこの道じゃないな。)

〈なる形〉

形容名詞・名詞に「ニナル」を付ける。

- ・ヨー コスツタラ キレーニ ナルデ。(よく擦ったら綺麗になるよ。)
- ・ライネンカラ カチヨーニ ナル コトガ キマッタ。(来年から課長になることが決まった。)

〈副詞形〉

形容名詞・名詞に「ニ」を付ける。

- ・ミチ コマン ウチニ ハヤメニ ウチ デヨマイカ。(道が混まないうちに早めに家を出よう。)
- ・ヤナ キモチニ サシテ マツテ スマナン

ダ。(嫌な気持ちにさせてしまってすまなかった。)

〈丁寧形〉

形容名詞・名詞に「デス」を付ける。

- ・ナカツワ クリキントンガ ユーメーデス。(中津(川)は栗きんとんが有名です)
- ・マゴメジユクワ ナカツガワノ カンコーメーショデス。(馬籠宿は中津川の観光名所です。)

〈のだ形〉

形容名詞・名詞に「ナンヤ」を付ける。

- ・イナカワ キンジョズキアイト トモダチズキアイガ ダイジナンヤ。(田舎は近所付き合いと友達付き合いが大事なんだ。)
- ・マエ アツタトキ チーチャカッタノニ モー コーコーセーナンヤネ。(前に会った時は小さかったのにもう高校生なんだね。)

用例出典

[中津]: 岐阜県立中津高等学校郷土研究部言語班 (1956)『中津川を中心とした恵那ことばの研究 1』私家版

参考文献

奥村三雄編 (1976)『岐阜県方言の研究』大衆書房  
 下野雅昭編 (1997)『日本のことばシリーズ 21 岐阜県のことば』明治書院  
 山田敏弘編 (2006)『ぎふ・ことばの研究ノート 第5集 東濃方言資料に見られる文法項目』私家版  
 山田敏弘編 (2017)『岐阜県方言辞典』岐阜大学 (野田太暉)

-----  
 方言文法研究会編『全国方言文法辞典資料集(9) 活用体系(7)』オンライン先行公開版  
 公開日: 2024年11月18日  
 冊子版発行日: 2025年3月(予定)